

広

GO!GO!えんにち!

こどもの日の恒例イベント

コミセンわじろでは、5月5日のこどもの日に、毎年恒例の「GO!GO!えんにち!」を開催します。3階の体育館で行う「えんにちブース」は、全部で3つの時間から選ぶことができます。射的やヨーヨー釣り、金魚すくいなど、「縁日」にお馴染みのコーナーから、新しいゲームや体験ブースなどをご用意いたします。参加してくれた方には景品やプレゼントもありますので、ぜひ挑戦してゲットしてください!

他にも5階の多目的ホールでは映画上映会を予定しており、1日中遊んでいただけるように、現在スタッフで企画を考え中ですのでお楽しみに!今後内容が決まり次第、コミセンわじろのホームページまたはSNSなどで発信していきますので、チェックをお願いいたします。

《「GO!GO!えんにち!2025」詳細》

【日時】2025年5月5日(月・祝) ①10:00~11:45

②12:00~13:45 ③14:00~15:45

【会場】2階・3階・5階 【定員】各回250名 【料金】無料

【お申込み】当日9:00から2階で整理券を配布。

※1人5枚まで。

【問合せ】☎092-608-8480



接

チャイルドスペース

開放的で新しい空間へ

今までチャイルドルームだった場所が、コミセン自習室に変わります。少しの間、移転に伴った工事の影響でチャイルドルームが利用できなくなり、利用者の皆さまにはご迷惑をおかけしていましたが、いよいよ階段下にチャイルドスペースがオープンしました!窓から日が入り、とても明るくて開放的な空間となっています。コミセンわじろの2階では、子どもたちの楽しそうな声が聞こえるようになり、賑やかになりました。チャイルドスペースは、今から少しずつ、おもちゃなども増やしていく予定です。今後も変化し、利用者の皆さまと成長していくスペースです。ぜひ未就学児をお連れの方の皆さま、遊びにきてください!

現在のチャイルドスペース(2月10日時点)



今回の移転に伴い、チャイルドルームの利用ができない期間があり、利用者の皆さまには、ご協力いただきましてありがとうございました。今後の情報については、ホームページやSNSで発信していきます。



WAJIRO Regional Community Center

〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX:092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜日(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28~1/3)



公式HP facebook



より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <https://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中!

facebook www.facebook.com/komisenwajiro

WAJIRO

「残す景色」と「新しい景色」がかさなる情報誌 [ワジコ]

48

March.2025
Spring

Contents

わじおし 早生玉ねぎ

わじろぐ 稲荷社(森の屋敷)

わじかつ オアシス 花かご

わじとび GO!GO!えんにち!

わじくみ チャイルドスペース

地域で育てた新鮮な素材を
そのまま食卓へ

Fresh ingredients grown locally, straight to your table.



早生玉ねぎ

素材本来の甘みを味わう旬の食材

玉ねぎの中でも、特に種まきから収穫までの期間が早く成長が早い「早生玉ねぎ」。今回は、和白校区で栽培している久保田さんに、早生玉ねぎの栽培方法や魅力、オススメの食べ方などのお話を伺いました。

早生玉ねぎは、3月から4月ごろに短期間で収穫される「新玉ねぎ」と呼ばれる種類です。春の短期間のうちしか食べられない季節の味として人気が高いです。

早生玉ねぎには、超極早生、早生、中早生、シャルムなどさまざまな種類があります。シャルムは、3月に種を蒔き、6月に1回土から引き上げます。そこから約3ヶ月間、風通しの良いところで干し、9月末から10月にかけてもう一度球根を植えます。ネギ類が暑さに弱く、今年の猛暑が影響しここ最近栽培に苦労しています。

早生玉ねぎの特徴は、水分量が多く、あまり保存が利きませんが、みずみずしく、甘みが強いのが特徴です。玉の白い部分は、生でサラダや酢の物にして食べるのがおすすめです。上の緑の葉の部分は、お肉と煮て、すき焼き風



にして卵でとじたり、お鍋に入れたりするのが美味しいです。

保存方法としては、収穫したら冷蔵庫に入れ、早めに食べきるようにしてください。今からが旬の時期です。ぜひお店で並んでいたら手に取ってみてください。

早生玉ねぎのスライスサラダ

- 早生玉ねぎ…1個
- 細ねぎ(刻み)…大さじ1
- 鰹節…ひとつかみ
- ☆ごま油…大さじ2
- ☆醤油…大さじ1
- ☆すり白ごま…適宜

【作り方】

- ① 早生玉ねぎは薄切りにして水にさっとさらし、水気を切る。
- ② ☆を混ぜ合わせる(ドレッシング)。
- ③ 器に早生玉ねぎを盛り、②のドレッシングをかけ、かつお節、細ねぎをちらしたら完成!

【取材協力】久保田 由紀子さん



三苦小学校の西側の丘陵地には、「森の屋敷」と呼ばれている小さな稲荷社があります。赤い鳥居が目印のこの神社の歴史と逸話を紹介します。

「森の屋敷」と呼ばれるこの敷地は、三苦家代々の屋敷跡ではないかと云われています。三苦家の起源は、平安時代頃(西暦800年頃)まで遡ります。武内宿禰(たけのうちすくね)とともに、香椎宮の神主として京都から下ってきた和氣重春は、香椎宮の神領である三苦郷を与えられ、三苦重春と姓を改めました。代々領主として三苦郷を領有し、香椎宮四党の一つとなります。



昭和20年代、この地に地元の人々によって建立されたコンクリートの祠と鳥居があり、お稲荷様が祀られています。この稲荷様は一時「綿津見神社」の境内に祀ってありましたが、「わしはお宮には住まん。もとの森の屋敷に帰してくれ」とのお告げが村人にあり、再び現在の場所へ移したと伝えられています。大正の頃までは、近郷の漁師たちが自分でとった新鮮な魚を持って、豊漁を祈りにお詣りしていたとのこと。また、**ものを無くしたときに、ここのお稲荷様に祈願をすると、無くしたものが出てくるという話もあり、多くの方が参拝しています。**失せ物に心当たりがある方は、ぜひお立ち寄りください。



オアシス花かご

見る人を癒し、地域に憩いの場所を作る活動

和白東校区の高美台2丁目ロータリーで約40年以上にわたってまちの中の花壇の手入れを行っている「オアシス花かご」の活動を紹介します。継続的な活動が評価され、令和4年度には「花と緑のまちづくり賞」にも入選しました。今回は代表の西野さんにお話を伺いました。

Q.どんな活動ですか？

オアシス花かごは、1982年に育成会・町内会の有志で活動が開始しました。現在は役員5名にボランティア10名ほどで実施しています。1年のうち夏と春の2回、花壇の花の入れ替えを行い、毎月第3日曜日に定期的に集まり、除草作業や肥料を入れたりしています。**常に楽しめる花壇にしたい、という思いから日々花の手入れを行い、お花好きな仲間が集まっています。**

Q.この活動ならではの魅力は？

約6年前に、自治協議会と平田ナーセリーが協定を結び、企業の力を借りることができるようになりました。平田ナーセリーには、花壇に植える花の苗の種類選定や育った時にどうなるかを考えて、並べ方のアドバイスをいただいています。

他にも、地域の方に向けて、年に2回ほど園芸講習会を実施し、参加者のご自宅のお庭の相談や花の苗の植え方を指導してくれています。**花の専門家がいることで、花について気軽に聞くことができ、花に対する知識が豊富になることも、この団体の魅力です。**

Q.今後の活動を教えてください

今年度から、ボランティア団体としての活動ではなく、和白東自治協議会の各種団体の組織に入りました。そのため、活動費が増えたこともあり、今までできなかった事業や取り組みができるようになりました。例えば、夏の除草作業の負担を軽減し、花の手入れに集中できるようにするために芝生式除草シートを設置したり、**ロータリーという開放的な特徴を活かして、敷地内にベンチを置き、地域の方が座って花を見ながらゆっくりできるスペースを作りました。地域の皆さんには、憩いの場所として使ってほしいと考えています。**

他にも、和白東小学校の児童の皆さんの通学路になっていることから、子どもたちにも見てほしいと考えています。今後は、野菜のお花を植え、オクラとかどう植えているのか、など子どもたちに見せたいと思っています。収穫したら、地域の方に配るなど、今後は活動を通して、皆さんに還元していきたいと思っています。

この活動もボランティアの皆さんがいるからできることです。これからも地域の方にとって、お花を見て癒される場所を目指していきます。団体のボランティアの方を募集しています。お花が好きな方、地域のために何か活動したい方、ぜひお声かけください。



稲荷社(森の屋敷)

地域に根付く、生活の中にある稲荷社